



企業約30社を始めNGO、個人など合わせて計約100社・団体が参加(左端は大和田氏、右端は井出氏)

「ビジネス志向」目指す

LOHASで会員制組織

LOHASビジネスの拡大と活性化を目指す新たな会員制組織「ロハス・ビジネス・アライアンス」(LBA)が十七日に発足した。「ビジネス志向型」のLOHASを目指す姿勢が特徴で、定期セミナーや分科会の実施、ビジネスマッチングなどを予定。起業家に

対する資金面や経営面の支援にも力を入れる。LOHASは、健康や地球の持続可能性に配慮したライフスタイルを志向する考え方を指す。共同代表の大和田順子氏は、「国内では今まで、消費者向けのイメージが強かった。しかしともなと発祥地である米国で

は、ビジネスの視点から始まった経緯がある」と話す。共同代表の井手敏和氏も、「経済、環境、社会だけでなく、思いやりなど精神性も重視する価値観を持つ人達が語り合っていく中で、新たな事業が生まれる。そんな人達のための学びとコミュニティの場にしたい」と述べた。

同日までに、食品や生活用品のほか、ファッション、流通、IT、金融、コンサルティング、NGOといった全国各地の企業約30社や団体、個人などが合わせて約100者が参加している。また発足に併せ、米国LOHASフォーラムと

交流を進めていくことで提携。二〇〇八年六月に米コロラド州ボルダーで開催予定の「LOHASコンファレンス」に参加するほか、将来的にはその日本版やアジア地域版の開催も視野に入れる。同日開催された記念セミナーで講演した米国LOHASフォーラムディレクターのテッド・ニン氏は「米国のLOHASビジネスの市場規模は現在約二〇〇億ドルに上り、年一六％のペースで成長している。大切なのは、我々が同一のコミュニ

ニティ内にあり、存在すること自体が影響を及ぼしている」ということ。日本の皆さんとつながりができたらうれしい」と強調した。詳細はHP (<http://lohas.org/>)、問い合わせはLBA事務局(050・5539・3460)まで。